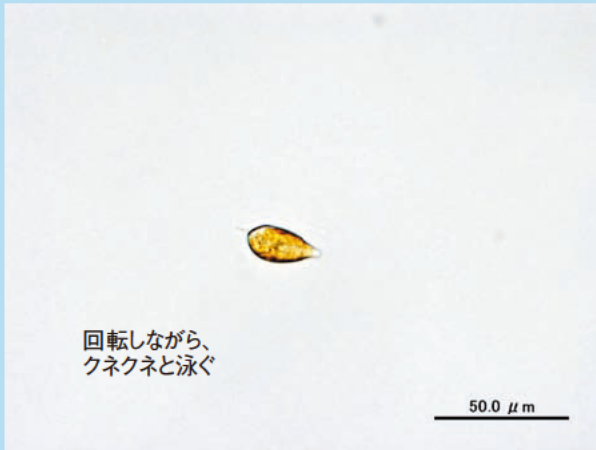


# プロロセントラム トリエスティナム(渦鞭毛藻)

(*Prorocentrum triestinum*)



大きい

類似種1  
プロロセントラム グラシル

- ◆ サイズが大きい(45~60μm)
- ◆ 細胞の軸がまっすぐ

軸 (まっすぐ)

大きい

類似種2  
プロロセントラム シグモイデス

- ◆ サイズが大きい(70~75μm)
- ◆ 細胞の軸がややS字状

軸 (S字状)

大きい

類似種3  
プロロセントラム ミカンス

- ◆ サイズが大きい(35~70μm)
- ◆ 細胞の幅が広い

幅広い

前端は丸い

頂刺(大きい)

遊泳方向

細胞の軸 (わずかに弧状)

後端は尖る

様々な方向から見た細胞の様子

**大きさ** 長さ18~22μm、幅6~11μm

**形態** 色は黄褐色。細胞はやや扁平な紡錘形で、向かい合わせに2枚の皿状の殻が合わさった形をしている。正面から見ると、槍の穂先のような形をしており、前端は丸みを帯び、後端は尖る。前端がやや平らな細胞が見られることもある。前端に大きな頂刺(ちょうし)と呼ばれる棘がある。頂刺の根元付近にある鞭毛孔(べんもうこう)から2本の鞭毛が伸びるが確認しづらい。類似種とは細胞のサイズが小さいことで大体は区別できる。

**動き** 回転しながら泳ぐ。細胞の軸がわずかに弧状なため、少しくネクネした動きをする。

**漁業への影響**：マガキの着色現象(赤変カキ)の原因になることが疑われている。マガキの中腸腺(ちゅうちようせん)と呼ばれる消化器官が赤色に変色したり、むき身にしたマガキの内臓から赤色の液がにじみ出たりして、商品価値が低下する危険性がある。

**漁業被害**：三重県沿岸では単独赤潮で漁業被害が発生した事例はない。

**発生海域**：伊勢湾~熊野灘沿岸

**発生時期**：5~10月頃